



# 新年賀

昭和六十年元旦

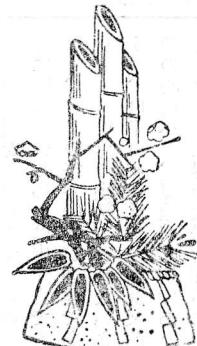
洛友會報

## 洛友会役員

常任幹事	九州支部長	東北支部長	四国支部長	北海道支部長	中国支部長	北陸支部長	関西支部長	東京支部長	副会長	会長	長長
------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-----	----	----

京都市左京区吉田本町  
京都大学工学部  
電気系教室内  
洛友会

竹池近河三中池松西浜木高大金真 本巽芦松  
村上藤本国川内谷岡口村木谷井田 多原田  
文文勝文修義健敬俊小俊泰久安良義長三郎  
治一 清夫治孝郎郎則郎二一一宜之衛夫 静雄知重  
中部支部長



京都大学

電氣關係教室  
教官一同

財團法人  
關西電氣保安協會  
理事長 前田義里

トクデン株式會社  
代表取締役 北野山人

三洋電機株式會社

東北電氣保安協會  
理事長 三国文治郎

株式會社 島津製作所

取締役會長 上西亮二

日新電機株式會社

取締役會長 立石亨三  
シンコーメタリコン

フジテック株式會社

取締役會長 内山正太郎

栗原産業株式會社  
代表取締役 栗原英三

松下電器產業株式  
有志一同

# 新年賀謹

昭和六十年元旦

株式イーディシー  
取締役社長松尾三郎

ソフトウエア  
コンサルタント  
株式会社

関西支店  
三郎

## 年頭ご挨拶

洛友会会长松田長三郎

新年お目出とうござります

会員各位のご健康とご活躍をお祈り申し上げます

わが京都大学電気工学科の卒業生は、既に五、四二六名の多数になりました。また電気工学講習所の卒業生も、一、二八〇名の多さに達し、これらの卒業生の各位が、我

中電化工業株式会社

取締役社長中島正雄

四電エンジニアリング

株式会社

取締役社長長島修

日比谷総合設備株式会社  
取締役会長鈴木竜吉

会社電気評論社

高周波熱鍊研究所  
財團法人

日立化成工業株式会社  
取締役会長高木正

電気学術及び工業は、日進月歩のテンポで進展しております。進歩の激しいこの時代にあっては、停滞は後退を意味します。この趨勢に遅れないためには申すまでもなく、平素の修養勉強が必要あります。世界の趨勢に遅れないよう、自肅自戒、常に、前進又前進の心構へと、気迫が大切であります。世界の大勢を知ること

によって、ボヤボヤしては居られぬと、自覚発奮することが大切です。日々の学習で止まらぬ科学技術の発展。日々に進んで止まらぬ科学技術の世界に、自分も、その一翼を担うとの気力気迫が大切と思はれます。やる気があれば、自分自身の貢献を挙げて来られたと自信出来るることは、誠に有り難いことでもあります。願わくは、卒業生各位に、おかれでは、京都大学卒業の誇りを胸に秘めて、謙虚に、しかも大いに胸を張って、我国電気学術、工業各界に雄飛せられることをお祈りし、お願いする次第であります。

これらの開発の鍵を握る人は、夫々の当事者であり、殊に若い人達の分野も多いことと思はれます。学界・技術界には、未知未開発の分野も多いことと思はれます。これら開発の鍵を握る人は、夫々の当事者であり、殊に若い人達の分野に細分化、その、それぞれの分野にあります。若い研究者・技術者の当事者にとって、大きな挑戦です。

国家なり民族の栄枯盛衰には、やはり、それだけの、素因があるのです。その兆しを早く見つけて、適切な対策を講ずることが、為政者、リーダーの、重要な責務があります。若い研究者・技術者の当事者にとって、大きな挑戦です。そのためには、常に注意を払って行くことが大切です。

昭和60年代は、如何なる時期になります。つまり、学術や経営や経済界は、益々国際的に発展して行きます。私共は、それに応える心構えが大切であり、お互いに、心

地位は、確固たるものになつて來ました。それだけに、世界の、我が國に対する期待も、大きくなっています。と云ふことは、国民一人

一人の双肩に、かかっていると云ふことでしょう。今、世界のリーダーは、米ソ両国であります。と云ふことは、国民一人

の力のバランスの根本は両国の科学技術のバランスであります。いくら強がりを言つても、その背後にある科学技術の実力が伴はなければ、から威張りになつて了ふばかりでしょう。

国力の根本をなす科学技術は、益々多種多様化している現状であります。しかし、この趨勢は、今後益々激化して行くと思はれます。その

ことは、当事者にとって、大きな苦労ではあります。またそのうちには、大きな喜びも、満足感もあります。そのためには、当事者のみが味はえる、何ものにも替え難き喜びであります。

昭和60年、これだけ長く続いた年号も、稀有のことであり、誠に

お日出度い限りで、聖寿の方才を寿はぎ奉る次第です。さて、この

昭和60年代は、如何なる時期になります。つまり、学術や経営や経済界は、益々国際的に発展して行き

ます。私共は、それに応える心構えが大切であり、お互いに、心

気を一新して頑張りたいもので  
す。年頭に当り、重ねて、ご健康

とご活躍をお祈り申し上げます。

(終)

## 電気系教室だより

### 懇話会・秋期講演会について

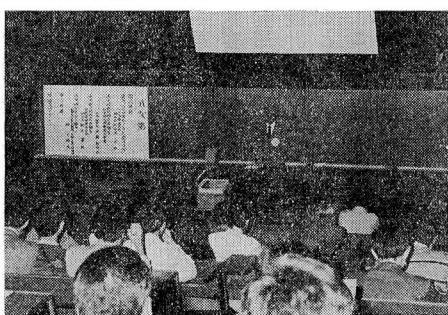
昨秋、電気系教室新館（S館）

が完成し、中庭が整備されたのを

機に開催された電気教室懇親会・秋期講演会・懇親会の第2回目として、十月二十日（土）、四名の先輩を講師としてお迎えして、午後一時より電気総合館大講義室において講演会を開催した。

先ず最初、シャープ副社長佐々木正氏（昭13年卒）より「自らが携つて来た電子工学」と題して、電子工学の進歩の過去、現在、未来から仏教的世界観にわたる深遠なるお話を承った。

次いで国鉄九州総局長武藤良介氏（昭28年卒）の「国鉄技術者の30年」と題する、国鉄電化・新幹線建設と共に歩んだ国鉄電気技術者の心意気を伺つた。



最後に、京都大学名誉教授、大阪工業大学教授林千博先生（昭9年卒）より「研究生活を顧みて」と題して、先生のライフワークの非線形振動から発展して、現在尚新らしい研究に情熱を燃やしておられる様を親しく伺つた。講演会参加者は百八名に達し、関西に勤務の先輩も多数出席され、参加者一同多大の感銘を受けた。



発声によってスタートし、講演会

懇親会は昨年同様、電気総合館3階、大会議室、中会議室並びにこれらの前の廊下において開かれた。

今年もまた屋内開催となつた。

秋の一宵を楽しみました。

そもそもこの会は、学生教職員に引続いての先輩多数の参加を得て、学生・先輩・教職員の間の対

話が大いに盛上つた。女性事務職員による特製おでんも本会名物として定着し、総数百四十五名の参

加者はビールを介して和やかに中

秋の夜を楽しめました。

最近はいわゆる情報過多時代となり、学生に対して「一般の情報報が、マスメディアによつていびつな形で供給され、未來の専門家

として旅立つときに「これでよいのか」と疑問が生ずる。これを少しだけ緩和することは学生にとっても社会にとっても必要であり、今後も先輩諸兄に本講演会の議論を順繕りにお願いすることとなる

かと思ひますので、その節は後輩のために御承引下さるようお願い致します。

### 教官の異動

電気系教室では今年秋、次のように教官の異動がありました。十月一日付で湯川敏信（昭51博）助手が岐阜大学工学部助教授、奥村洗士（昭41）深尾昌一郎（昭42）および松木純也（昭44）の各助手ぞれ昇任しました。とくに松木講師の席は、留学生並びに国際交流のために特別に設けられたもので、教官としての研究は從来通りですが、留学生の学習指導が新ら

たな任務となります。

## 支部だより

### 関西支部家族見学会

恒例の昭和五十九年度関西支部家族見学会が秋晴れの十月二十八日（日）、松田・大谷・近藤三名誉教授を初め一三三名の参加者をえて行なわれた。

今回の見学会は、去年東方面だけたので西方面という事と何か京都と大阪からそれぞれ二台の車で、関西電力の山崎実験センターと加西市にある兵庫県フラーーセンターとなつた。

同センターは兵庫県山崎町に在り今年十一月六日開所の予定で、甲子園球場のほぼ二倍半にあたる十万平方メートルの敷地を有している。

まず会議室で、米原総合技術研究所所長（昭・二八）からスライドでセンターの概要説明を受けた後、五十キロワット太陽光発電設備を見せてもらつた。二、八〇〇平方メートルの地面に設置された太陽追尾制



御された集光板により太陽光を集め、四十二台の単結晶シリコン電池アレイ（セル数約一、三〇〇個）により電気へ変換するものである。集光式では日本で最大の規模とか。折しもすき透った太陽の光を集めて一齊に電池が輝いているのは一寸した壯觀であった。

参加の方々から、奥様方からも、色々質問が出、アレイ一台が高級外車一台と同じ値段という話にびっくりして見たり、雲で少し太陽が隠れると急に出力が落ちるのをメータで見、感心して見たりで、予定の時間を大幅に超過してしまう程で、太陽エネルギーについての関心の高さを窺わせた。なにでも三先生方からは、性能や評価について鋭い数々の質問があ



米洞道と三千米の模擬配電線等の設備が完成しているとのことで、予定の時間を大幅に超過してしまった。革新技術を織り込んだ実験施設に紅葉を始めた山あいを渡ってきた風が吹き抜け、さわやかな気分であった。

姫路の奥座敷といわれる塩田温

り、説明役の会員も卒論の口頭試験を受けている様で冷汗をかきながら応対していた。次に、途中の道から見えていた五十万ボルトの架空送電設備を見せてもらった。現在の五十万ボルト送電線に比べ二割から三割の送電容量増が図れる新方式送電線の実用化のため、経済的・合理的な設計・建設工法の研究を進めていたとのことであった。

このほか、地中送電線用の六十米洞道と三千米の模擬配電線等の設備が完成しているとのことで、予定の時間を大幅に超過してしまった。革新技術を織り込んだ実験施設に紅葉を始めた山あいを渡ってきた風が吹き抜け、さわやかな気分であった。

姫路の奥座敷といわれる塩田温

の夢の井旅館で会食となつた。

浜口支部長のあいさつに続いて松

田先生より、いつもかわらぬお元

氣な姿でお話をいたいた後、一

はランが見事に花を咲かせていた

が印象的であった。

この後、兵庫県フラー・センタ

ーを訪れ、憩の時を過ごした。同

センターは、亀の倉池を中心とし

た四十三万平方面の敷地に温室や

同窓かしく懇談に花を咲かせ、料

理を賞味した。

限られた時間に全園に見つくす

ことはむずかしく、心を残しつつ

帰途についたが、お土産のカップ

入りのかわいいサボテンが良い記

念となつた。

花火を所狭しと配置したもので、

当日はちょうど菊花の展示会が開催されていた。また、温室の中でラスケースの中に重要文化財と大

書された古い大壺が収められて

いた。そこには本多静雄寄贈と添え

書きされていました。この名品に

ついての説明を聞いたあと展示室

に入りました。ここでは日本の陶

磁の変遷が実物で示されていて、

歴史的名品を学問的に探求するの

に都合のよいところです。館員の

説明から瀬戸市のやきものがその変

遷の歴史の中で中心的な位置を占

めていたことを知りました。

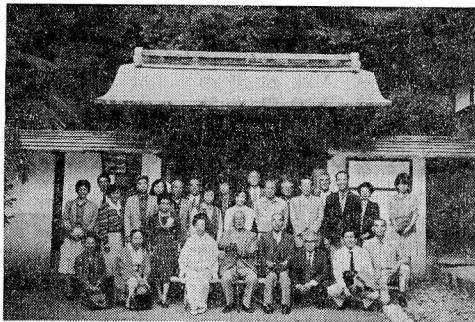
さて、ここでひとこと附記して

おきますがこの陶磁資料館を県政

説明から瀬戸市のやきものがその変

遷の歴史の中で中心的な位置を占

めていたことを知りました。



十一時四〇分この陶磁資料館に別れをつげバスは瀬戸市内の品野陶磁器センターに着きました。まず会議室で昼食を終え、参加者の自己紹介をすませたあと、本日最大の楽しみである絵付け実習に取りかかりました。やきものは日常生活に親しみ深いものであるだけに、誰しも一度は自分で焼いてみたい、自分で絵付けしてみたいと思うのではないかでしょうか。今回はそのうちの絵付け実習をやりました。素焼きの湯のみ、抹茶碗、小皿などがたくさん並べられていたので、そこから各自が自由に選んでこれに顔料で思い思いの絵や字をかいたのです。これに釉がかけられ焼き上げられて手許に届けられるのは約二週間後という

ことでしたから、丁度今頃自分の作品を手にして美しい色に変った

自分の筆跡を自賛していられるの

でないかと推察します。

午後二時半には瀬戸市赤津町に

ある加藤舜陶先生の陶房舜陶閣を

訪ねました。玄関を入れるとすぐ舜陶先生が出てこられて本多支部長に挨拶されたあと、早速二階に案内され、さらに三階に案内されました。そこには先生の年輪を偲ばせる数々の名品が豪華に並べられていましたし、先生が蒐集されたベルシヤや朝鮮の古代品も展示されていました。加藤舜陶先生は当重鎮であられます。私共一同は輪になつて先生から土と火の芸術論を楽しく聞きました。このあと私は外を眺めたくなつて三階のテラスに出ますと、舜陶閣は小高い丘の上にあって眼下の陶都一帯に漸く秋色が出初めて美しく広がっていました。

舜陶閣を出るとバスは瀬戸市郊外の定光寺に向って走り午後三時半頃その入口に着きました。そこから山の中腹に向つて長い石段を登つたところに本堂がありました。この庭で一同記念写真を撮りました。そして更に再度長い石段を登つたところに尾張藩主徳川義直の廟がありました。みると焼香殿の敷陶板をはじめ靈城の壇にま

ことでしたから、丁度今頃自分の作品を手にして美しい色に変った

自分の筆跡を自賛していられるの

でないかと推察します。

午後二時半には瀬戸市赤津町に

ある加藤舜陶先生の陶房舜陶閣を

訪ねました。玄関を入れるとすぐ舜陶先生が出てこられて本多支部長に挨拶されたあと、早速二階に案内され、さらに三階に案内されました。そこには先生の年輪を偲ばせる数々の名品が豪華に並べられていましたし、先生が蒐集されたベルシヤや朝鮮の古代品も展示されていました。加藤舜陶先生は当重鎮であられます。私共一同は輪になつて先生から土と火の芸術論を楽しく聞きました。このあと私は外を眺めたくなつて三階のテラスに出ますと、舜陶閣は小高い丘の上にあって眼下の陶都一帯に漸く秋色が出初めて美しく広がっていました。

舜陶閣を出るとバスは瀬戸市郊外の定光寺に向つて走り午後三時半頃その入口に着きました。そこから山の中腹に向つて長い石段を登つたところに尾張藩主徳川義直の廟がありました。みると焼香殿の敷陶板をはじめ靈城の壇にま

で陶板がはめ込まれていてさすがやきものの町瀬戸を領有していた

殿様であると思いました。更にあ

たりを見渡しますと山並の秋色までが怡も釉薬を透して浮び出した絵

のように柔かで静かで、やきもの

## 西安、シリクロードの旅(2)

昭和7年 鈴木 茂

独立した小丘が三つあり、前方に見える武則天の乳と呼ばれる二つの丘の後の小丘が乾陵である。

唐の三世皇帝高宗と皇后で四世皇帝になった武則天の合葬陵である。

乾陵は自然の地形を利用して築かれ完全な形で残っている。来年か

ら発掘調査が行われる聞く。

正門から望めば山頂迄登れる様

になつているがこれは辞退した。

南方には参道が長く延びる。正門

は壁面で美女と武官の版画を

いた。娘の悲運をあわれみ追封の上

刑された悲劇のヒロインである。

父の高宗が即位すると、若くて散

つた娘の悲運をあわれみ追封の上

永泰公主は乾陵の主の、高宗と

則天武后的孫娘であるが、十七才

の時祖母の悪口を吐き、その怒りにふれ夫と共に鞭打ちにされて処

刑された悲劇のヒロインである。

別棟の建物には副葬品が展示さ

れる。商店で美女と武官の版画を

いた。娘の悲運をあわれみ追封の上

刑された悲劇のヒロインである。

父の高宗が即位すると、若くて散

つた娘の悲運をあわれみ追封の上

刑された悲劇のヒロインである。

父の高宗が即位すると、若くて散

在は膨脹して市街は城壁外にはみ出る。城壁は高くて厚い。盛んに修理をしている所から後代まで保存するものであろう。東西南北には城門があり高い楼門がそびえる。

城内の陝西省博物館を訪れる。周から唐までの美術品、出土品約三万点が収蔵される。特に有名なのが碑林で、秦から清に至る間の石碑一、〇九五点がある。これ等の石碑が林立するので碑林と言われるが、石碑には四書五經を始めとして古典や文書が刻まれていた。印刷術のなかった時代は写本に頼ったが、誤写も多いので当時の書生は、この碑によつて正誤を正したという。碑から拓本がとられていた。

興慶公園を訪れたが、阿部仲麻呂の記念碑がある。最近日中合作で立てられたもので、彼が故郷の三笠山を偲んで詠んだ有名な古歌が刻まれる。

回教寺院の清真寺を訪れた。礼拜をすませて家路につく信者の姿が多数散見された。彼等は皆白布のキヤップを頭に戴く。市内には約五万人の信者が住むといつた。

市の中心に鐘楼が聳える。折柄南門を訪れ城壁の上へ昇つた。

鐘楼も城門も木造建築で高さや容積は東大寺の大仏殿に勝るとも劣らぬ様に思える。

市街は碁盤目状に区画され、道路樹が緑の葉を茂らせる。市民の往来が賑かであった。

乾陵へ行く途中咸陽で異様な光景に接した。警官に護送される囚人の一隊とすれ違つた。数台のトラックに一四〇~五名の囚人が手錠をかけられて分乗する。或者は昂然と胸を張り、或者は悲しげに頭を垂れる。護送の物々しさから重罪人と推定される。テレビで日本時代の町奉行が"市中引廻しの上……"と宣告するのを見るが彼等も処刑前の市中引廻しかも知れない。

農民が野菜や果物を売る自由市場もあった。殷盛さは輪島の朝市に匹敵しよう。経済近代化の一つの現れであろう。

この外にも所々に野菜や果物を売る露店もあった。ガラスのコップを数箇並べお茶を売る青空喫茶店もあった。

市街には到る處に"請勿隨地吐痰"と書き出される。歩行中の煙草も禁ぜられ、励行されていた。夕暮の蘭州空港へ到着した。

方が悪いと思う。

黄土に覆われた山の上を飛んで方さんという年配の女性ガイドが心配そうに迎えて呉れた。二一・四五蘭州発の列車に乗る予定であるが、此處から駅まで七〇kmの道程である。これを逃すと爾後の行程は実行不可能になるので彼女が心配するのも無理はない。

今回電気大博覧会開催に当り、今日当市に於て、斯くも盛大なる同窓会が開かれ、多数会員諸君の御出席になつた事は、非常に愉快に感ずる次第であります。そして此の席に於て秦先生より有益なるお話を伺つたことは、諸君と共に感謝に堪えぬ處であります。

次に幹事のお方の切なるご希望に依りまして、私は今日差上げました拙筆を振いました。字は甚だ下手であるが、精神に於ては熱心

け、定期三分前に蘭州駅に着いた時は一同期せずして拍手して運転された。名物の西瓜を割つて慰めて呉れた。

列車は更に延着して翌日の〇二・三〇に到着した。上海仕立てで三昼夜かかるて来ると言う。多少の時間の狂いは止むを得ぬとして車室には先客の中国人紳士が二人就寝して居た。この地は海拔一千八百〇〇mの高地であるが深夜でも蒸し暑かった。

(つづく)

## 「二二美具」に付いて

大正十五年四月廿四日

第九回春季講習所同窓会席上にて

京都大学教授

青柳栄司

工学博士

大正十五年四月廿四日

第九回春季講習所同窓会席上にて

京都大学教授

青柳栄司

処が日本に於ては之が徹底して居らないのか、知識に於ては中々与えられて居るが情意の養成には気がつかない。換言すると吾国に於ては知識の世界の開拓に偏して大抵の人は知識さへ進めば人間が出来ると思って居るのではないか、若し然うとすれば之は非常なる誤である。否吾々は別の世界をも開拓しなければなりません。

之は何であるか、それは情操の世界で知識とは全く別で理窟ではなく、体験による感情であります。世には分らない人が多いから感情と云うものは下等のものの様に誤解して居る。

今迄世人の多くは情意と云うものに付いては、なるが儘にまかせて居りましたから低級の感情が多い。併しそれではいけないので修養の力で出来るだけ之を善化しなければならぬ。それは私が何時も云うて居る事で秦先生からも今日承った事であります。

此の二者の気分に就て考察するに、何れも快とすることは同一であります。

ありますけれど、其の性質は正対で前者の悪意を含み劣等なる動機であるのに反し、後者は善意あり高尚なる動機であります。即ち前者がマイナスの感情なれば、後者はプラスの感情で正反対であります純不純の別があります。

そしてその愉快とする心理に必ず生理的変化が身体に伴います。例えば愉快の時は伸筋が働き、不愉快の時には屈筋が働き、血行が衰え青くなり気が衰えて参ります。此の様に生理的変化が伴うものであります。別図の下部に此の生理的・心理的変化を起す心身の部分を掲げて置きました。

斯くの如くその符号は正反対でありますから、單に其の分量が大に違うのみでなく性質が違うのである。所が前述の通り劣等、即ちマイナスの情操を發揮するものが多いためありますから、之をプラスの方にかえなければなりません。之をかえるのが修養である。

吾国一般が之をゆるがせるのは畢竟信仰がないからである。そうすると平素多くは不純なる心に基づきて動作する習性が勝つのである。

例え東北地方の人はイと云う積りでエと云う様に筋肉を働かせるのであります。それと同様に過去の長い間の習慣が性となるので後は直り難いのであります。他の一例は丁度女学校の生徒等が、先生の間違などを笑う事を認用し、それが習慣になってしまふと、笑ってならない場合に笑うまいかと思つても禁じ得なく遂に失礼を敢てする様になります。従つて時に、他の者がケチを付けて笑う様な氣分であった。之に反し吉利議会では始めての演説は謹聴し、それが終ると挙つて演説者に握手を求める、彼を祝福するそうであります。

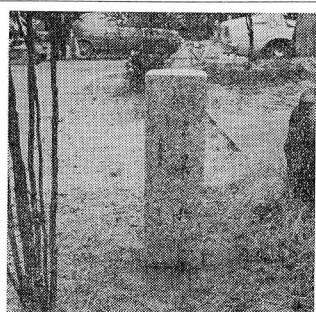
次に意志は実行であるが、前述の理由に依り不純なる情操のもとに実行される場合が多い。例え競技でも応援でも卑怯な事を敢てするものが少くない。殊更に前者がマイナスの感情なれば、後者はプラスの感情で正反対であります。競技でも応援でも卑怯な事を敢てするもののが少くない。殊更に前者がマイナスの感情なれば、後者はプラスの感情で正反対であります。競技でも応援でも卑怯な事を敢てするもののが少くない。殊更に前者がマイナスの感情なれば、後者はプラスの感情で正反対であります。

要するに、知識で覚えた事を情操でどうしてもやり度いと云う熱を燃やし、意志の力で実行するのであります。

吾講習所諸君は、總て三美具であつて欲しい。即ち此書は智育で、希望すると云うことを意味するのであります。

此の意味に於て、「三美具」と書けるものを差上げると同時に簡単なる御説明を申上げ、尚又別に「人間性の教育」と題した印刷物も差上げた次第であります。

何卒、何時迄も神に対する心持で、出来るべきだけ智情意の三つを養い国家社会の為、大に奮励努力せられんことを切望して止まなり次第であります。



## 事務局だより

政治教育にしても政治知識を与えるだけ情意の鍛錬が伴わなければ、胡魔化す、詐欺もする、取扱もすると云う事にならないとは保し難いのであります。だから諸君が國家社会の為、大に貢献せんとする為には、幼少の時より知識とする為には、幼少の時より知識を磨く許でなく、之と併行して情意の鍛錬をやらなければなりません。

○今般、洛友会常任幹事並びに応用科学研究所常務理事として近藤理事長を補佐してこられました山口春男氏が、一身上のご都合により退任されることになりました。

同氏は、洛友会の前任常任幹事で在職中に死去されました。山本茂雄氏の後任としてご着任になりました。

爾来三年有半の間、洛友会及び応用科学研究所の総務全般につきご活躍になつておられましたことは周知のとおりであり、適任者が退任されることは誠に残念でありますが、今後ご健康にご留意にななりますますのご健在を念願いたしますと共に、在任中のご努力に対し深甚の謝意を表します。

### 名簿コンピュータ

#### こぼれ話

#### 「あれこれ」

講昭和十三年卒

竹村清

十二月九日 晴 9℃

いよいよ今日は新名簿発送の日である。封筒に入れ十文字に紐が掛けられ書籍小包の表面には、コンピュータからの出力によりプリントアウトされた宛名シールが貼られおり、今までとは異つた印象である。風は強く冷たいが、空は抜けるように青く、トラックに積み込まれた名簿発送の門出にふさわしい日本晴である。

企画から会員及び会社マスター八十八の手間かけた米"ではな

いが、播种種から取入れまで約十ヶ月やつとの思いで発送までこぎつけることができた。穂のあとの落穂拾いに最後の穂くりとしよう。

#### "堺に新潟あり"

昔のいろはかるたに"京に田舎あり"とゆう一枚の札があつたが、これを"地"で行くとゆうより"字"で行くお話を一席。

名簿作成のコンピュータ化に伴い、この関連として会費納入用振替用紙に会員各位の郵便番号、住所、氏名などが自動的にプリント

アウトされていることはご承知のとおりである。

コンピュータ会社から以上のようにプリントアウトされた振替用紙が一〇〇枚ずつたばねられて搬入された。五十九年四月号の会報

発送は、この方式による第一回目である。プリントアウトは、郵便局が配達先の仕分けが便利なよう

かも知れないが、我々年配といつても戦前派の人間には当用漢字が制定されたときや、これが常用漢字と名前が変わったときに漢字や

送り仮名の使い方、書き方には随分と悩まされたものである。その

ときは会報一二六号にT教授がお

題"漢ピュータは正直者"略して"漢ピュータは正直者"略して"漢

年若い卒業生には笑止の至りである。"ハ"欄と"カ"欄が離れたところに鎮座している。このことは

"ハ"欄の"広"、"廣"でも同一現象である。もとと甚しいのは、

に札幌市の001から新潟県の959までの郵便番号順になつてい

る。

今まで二連であった振替用紙が四連になつた物珍らしさも手伝つて、各番号順にパラパラと点検して、いた時のことである。

大阪府は大体500番代である

が、堺の590番代を点検していくと、堺……町、……町と順序よ

く印字されている中に突然新潟市

からながら新潟市の上の郵便番号

をみると下591となつてある。

オヤ?なぜ堺市のグループに新潟市が混っているのだろうといぶ

かもと思い調査票を調べる。本票

は確かにご本人がお書きになり、

やコンピュータ入力時の転記ミス

郵便番号は?どうしたことか下9

51と書くべきところが下591となつてある。

やっぱりご本人のミスかと安堵する

すると同時にコンピュータの融通のきかなさをつくづく感じる。

"漢ピュータは正直者"

年若い卒業生には笑止の至りである。"ハ"欄と"カ"欄が離れたところに鎮座している。このことは

"ハ"欄の"広"、"廣"でも同一現象である。もとと甚しいのは、

に札幌市の001から新潟県の959までの郵便番号順になつてい

る。

今まで二連であった振替用紙が四連になつた物珍らしさも手伝つて、各番号順にパラパラと点検して、いた時のことである。

大阪府は大体500番代である

字表の字体になじめず文章を書き出すといつつい旧字体になつてしまふ。習慣とは恐ろしいものだ

たってからであつた。

この漢字のことで今回の名簿コ

ンピュータ化の時は、少しばかり悩まされた。

大体ご本人の姓名の漢字は、こ

れが当用漢字字表にあつても旧

字体をお使いになる方が多い。例

えば広々廣、沢々澤など、もつと

極端な方は當用漢字、字表の

"隆"を"隆"と書かれる。たし

かに戰前は"隆"で"生"の上に

"一"があつた。ご本人はどうし

ても"隆"とは書かれない人を知

つている。

新名簿の索引部分がプリントア

ウトされて来たときのことであ

る。これを校正していると"サ

欄で沢田、澤田が同一順序になつてない。沢田と澤田が離れたと

ころに鎮座している。このことは

"ヒ"欄の"広"、"廣"でも同一現象である。もとと甚しいのは、

名簿の編集がコンピュータ化され、この第一版が昭和五十八年十二月に発行されてから早くも一年が経過した。

このコンピュータ化の一端を担当させていた私としては、やれるだけのことを勢一杯努力して、"会員基本調査票"の作成、校



## 居所不明者年次別一覧表

昭和59年11月末現在  
表中敬称略

事務局におきまして別稿の要領により調査の結果、下表のとおり“居所不明者”的あることが判明致しました。つきましては、不明者の所在、消息、又は調査の手掛りなどご存知の方は、お手数ですが事務局までご連絡くださいますようお願い致します。本年は名簿改訂の準備期に当たりますので名簿の正確を期すためにも、よろしくご協力くださるようお願い致します。なお卒業年次の次の数字は、1：電気、2：電子、3：電二を示します。（本表には名簿上会社在職者で居所不明のため当該会社に間合せ中の者、海外駐在者で居所不明者及び電気工学講習所卒業生の分は、除外しておりますのでご了承ください。）

卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名	卒業年	氏名
大2	小野三郎	昭14	平昭	昭22	山塩雄	昭45.1	井木明
大4	岩佐重就	昭14	弥祐	昭23	兼俣英	昭45.3	田野善
大5	本藤道雄	昭14	宏冬	昭24	正経	昭46.1	岡口吉
大7	井藤隆久	昭14	一郎	昭28	正浩	昭46.2	上松
大8	田原千孝	昭14	廉茂	新昭33.1	宗隆	昭47.2	佐々木
大9	藤沢正直	昭15	義三	昭36.1	峰和	昭47.3	西原谷
大12	坂口正一	昭15	雄治	昭39.1	康孝	昭48.1	伊松赤
大15	見川正行	昭16.3	三忠	昭39.2	和田	昭48.2	森武
昭3	中口正達	昭16.12	清之	昭40.1	藤中	昭48.3	水安
昭4	石井正裏	昭17	雄秀	修1.2	飯北	昭49.3	有大
昭8	瀬戸正正	昭17	純一	昭41.2	河松	昭50.3	松鄭
昭11	井上正宣	昭18	穗木	昭41.3	長兒	昭52.1	清野
昭12	堀立正俊	昭18	波戸	昭42.1	田舎	昭52.3	
昭13	畠中正幸	昭18	元塚	昭42.2	野田	昭55.2	
	田尾正一	昭18	井間	昭42.3	詰野	昭55.2	
	田尾正一	昭18	田尾	昭43.1	田沢	昭11	
	田尾正一	昭18	丹	昭43.3			
	田尾正一	昭18	三星				
	田尾正一	昭18	錬				
	田尾正一	昭18	西安				
	田尾正一	昭18	作細				
	田尾正一	昭22					

編集後記

るうと少し残念な気もする。  
これらの調査依頼の結果は、十一月十五日現在問合せ総数八九通に対し四五通の回答が得られた。しかしあとの半数は未だに回答が得られていない。未回答の会員諸氏は、調査にはこのような苦労が秘められていることを感じとつていただき至急返信をくださるようお願いします。

以上の成果は六十年新年号が送された以後でないと判明しなさい。当事者として、この結果に大きな期待を掛けているが、本文をお読みになつた会員各位も関心をお持ちのことと思いますが、この結果は、六十年四月号に発表しきす。

(古文記)

めにも居所・所属等の変更の情報は振替用紙の通信欄・葉書などで早い目にご連絡願います。

◎本年の会報編集の方針としましては、会員の皆様に愛され、親しみやすい会報にするために会員各位のご投稿をお待ち致します。

事務局としましては、名簿編集の際に得られます各種情報、例えば各卒業年次ごとの居所不明者の割合とか、会費納入状況の比率など幅広く情報を公開しこれらを周知していただき、会報を通じまして洛友会の運営内容を明確にして行きたいと存じます。今後共ご愛読のほどを。(竹村記)